

学ぶことが最優先

スワーミ・アプールヴァーナダ

1975年10月、カリフォルニア州ストックトンのサンホアキン郡立総合病院での医学研修期間の半ばに、私はシャクティパート・インテンシヴでバーバ・ムクターナダからシャクティパートの伝授を受け、私の人生はより良い方向に大きく転換しました。私はシッダ・ヨーガのサーダナーに打ち込むことに熱中し、医療の職務以外のすべての時間を使ってバーバの本を読み、チャントイングをし、瞑想をしました。また、過密なスケジュールが許す時はいつでも、私はバーバと時間を過ごすためにオークランドのシッダ・ヨーガ・アーシュラムまで車で行っていました。

1976年初めまでに、私が医学の専門分野を追求するかどうか——そしてもしそうするなら、どの分野にするか——を決めるべき時が近づいていました。それと同時に、その年の秋に、バーバと大勢のシッダ・ヨーギたちがグルデーヴ・シッダ・ピートゥに行くために、ジャンボジェット機でインドに飛ぶ予定であることを知りました。私は、どの選択肢を選ぶかを決めることができませんでした。

私はバーバに手紙を書いて尋ねました。「バーバ、私は家庭医療か精神医学の研修医となるべきですか。あるいは最初のジャンボジェット機に乗ってあなたとインドへ行くべきですか」。私は彼が命じることは何であれ、それに「身を委ねる」と心の準備をしました。

2、3週間後、私は手紙で返事を受け取りました。バーバの秘書は、バーバが私の質問に返答して、「**Learning comes first.** 学ぶことが最優先」と言ったと書いてきました。バーバの返事を熟考すればするほど、それはより包括的で深遠になりました。三つの単語だけで、バーバはとてたくさんのことを言い尽くしたのです。

彼は、私の人生のこの現実的な選択に関して、私が自分自身で決断する必要があることを明示しました。熟考を通して、私はグルに身を委ねることについての教えも理解するようになりました。つまり、身を委ねるといことは、人生における現実的な選択をグルにしてもらうのではなく、グルの教えを吸収することなのです。

私の質問へのバーバの返事は、私の初めてのインテンシヴで得た気づきと非常に強く共鳴しました。バーバがシャクティパートを私に授けた時、私はそれまで体験したこともなかった強い喜びにあふれすべてを包み込む愛を体験しました。その体験は、私のどんな疑いも超えて、私の人生の目的は、いかなる時もその愛の境地にとどまる方法を学ぶことであると私に確信させました。この目的とバーバの教えを考えれば、私の決断は簡単でした。

バーバの返事を熟考した後、私は最初のジャンボジェット機の座席を予約しました。人生における当時の私にとって最も重要な学びは、バーバの教えを勉強して実行することで得られるものだということが、私には明らかだったのです。

私の人生を通して、「学ぶことが最優先」というバーバの教えは、継続的に学ぶことへのひたむきさ——グルの教えとインドの教典の継続的な勉強や、自分がささげてきたどのセーヴァーにおいても、より上手に効率的にささげる方法を学ぶことの探究——にインスピレーションを与えてきました。

46年以上の間、バーバの三つの単語の教え、「学ぶことが最優先」は、私の人生のあらゆる局面を導いてきました。

このことに、私はバーバに永遠に感謝します。



© 2022 SYDA Foundation®. 著作權所有。